

登別市本庁舎建設基本設計・実施設計等業務委託
公募型プロポーザル審査報告書

令和4年6月

登別市本庁舎建設基本設計・実施設計等業務プロポーザル選定委員会

1. 概要

登別市は、登別市本庁舎建設基本設計・実施設計等業務を実施するにあたり、市と協働で意欲的に取り組むことができる豊かな創造性、高い技術力、豊富な経験などを有する優れた設計者を選定することとしました。

登別市本庁舎建設基本計画の実現に向け、最適な設計者を選定するにあたり、設計者の創造性や技術力、経験などを求めることができ、また、設計段階においても市民の意見を反映することができる公募型プロポーザル方式を採用し、公平かつ公正な選定に向けた取組を進めてきました。

2. 選定方法

登別市本庁舎建設基本設計・実施設計等業務委託に係る設計者の選定方法は、公募型プロポーザルを採用し、審査は第1次審査及び第2次審査（プレゼンテーション及びヒアリング）の二段階方式で行いました。設計者の選定に当たっては、学識経験者、市民代表及び市職員で構成する登別市本庁舎建設基本設計・実施設計等業務プロポーザル選定委員会を設置し、選定委員会による評価により設計者を選定しました。

なお、審査については、公平かつ公正なものとするため、技術提案者は匿名で行うことに加え、選定委員の氏名は非公表、さらには、第2次審査と同日に選定委員会を開催し、設計者を選定しました。

3. 登別市本庁舎建設基本設計・実施設計等業務プロポーザル選定委員会

令和4年4月に「登別市本庁舎建設基本設計・実施設計等業務プロポーザル選定委員会」を設置し、委員長1名、学識経験者3名、市民代表3名及び市職員3名、計10名の審査委員により、選定のための審査を行いました。

4. 選定までの経過

内 容	日 程
実施要領等の公表	令和4年3月22日（火）
参加意向申出書等に関する質問受付期間	令和4年3月22日（火）から 令和4年3月28日（月）まで
参加意向申出書等に関する質問回答期日	令和4年4月 4日（月）
参加意向申出書等の提出期限	令和4年4月11日（月）
第1次審査結果の通知	令和4年4月15日（金）
技術提案書等に関する質問受付期間	第1次審査結果の通知があった日から 令和4年5月 6日（金）まで
技術提案書等に関する質問回答期日	令和4年5月13日（金）
技術提案書等の提出期限	令和4年5月31日（火）
第2次審査（プレゼンテーション及びヒアリング）、選定委員会	令和4年6月 5日（日）
第2次審査結果の通知	令和4年6月10日（金）
第2次審査結果の公表	令和4年6月10日（金）
契約予定時期	令和4年6月下旬頃

5. 第1次審査

参加意向申出書等の提出期限である令和4年4月11日（月）までに、参加希望者6者から関係書類の提出がありました。

提出された関係書類について、登別市本庁舎建設基本設計・実施設計等業務委託公募型プロポーザル実施要領等に基づき適正に審査を行いました。

審査の結果、参加意向申出書等の提出のあった参加希望者6者全者を第2次審査（プレゼンテーション及びヒアリング）の対象者として選定しました。

6. 第2次審査

プレゼンテーション及びヒアリングの対象者として選定された6者より、令和4年5月31日（火）までに技術提案書等の提出があり、令和4年6月5日（日）に市民会館大ホールにてプレゼンテーション及びヒアリングを行いました。

審査は、6者が提案する取組姿勢や履行体制、各テーマ及び参考見積について、選定委員が的確性や独創性、実現性等の視点により評価しました。

プレゼンテーション及びヒアリング終了後、選定委員会による協議を経て、第1次審査の評価を合わせた最終評価を行い、最優秀者（受注候補者）及び優秀者（次点者）を選定しました。

【技術提案内容】

- ・業務履行方針
- ・テーマ（ア）：市民の安全安心を支える庁舎
- ・テーマ（イ）：市民が集い、活用できる憩いの場となる庁舎
- ・テーマ（ウ）：誰もが利用しやすく、人や環境にやさしい庁舎
- ・テーマ（エ）：使いやすく効率的な庁舎
- ・テーマ（オ）：庁舎周辺敷地の整備、その他の独自提案
- ・参考見積書

7. 審査結果

本プロポーザルについて、選定委員会が公平かつ公正に審査をした結果、次のとおり最優秀者（受注候補者）及び優秀者（次点者）を選定しました。

最優秀者 株式会社 アトリエブंक（技術提案者F） 818.5点

優秀者 株式会社 久米設計札幌支社（技術提案者B） 739.5点

※点数は、第1次審査及び第2次審査における各委員の評価点の合計（1000点満点）

8. 審査講評

本プロポーザルに係るプレゼンテーションは、登別市本庁舎建設基本計画等に掲げるコンセプトや基本方針に、庁舎周辺敷地の整備やその他の独自提案を含めたテーマに基づき、6者による創造性豊かな技術提案をいただきました。

技術提案者によるプレゼンテーション及びヒアリングの中で、焦点が当てられたのは、敷地の造成計画と建物の配置計画、それに伴う建物の面積や階数、構造体の種類、耐震工法の種類、駐車場の配置、人の動線、市民等との繋がり（利用・協働）、子育て関連スペースの配置、LGBTへの配慮、執務レイアウト、ランニングコストなどのライフサイクルコスト、ZEBへの取組などにおける建築的な考え方、脱炭素社会の実現に向け、自然エネルギーを活用した環境に配慮した庁舎の考え方、そして平常時と災害時におけるフェーズフリーの視点をもった防災機能の考え方でした。

6者の提案内容には、これらの考え方がさまざまに盛り込まれており、選定委員が、的確性や独創性、実現性などの視点に基づき審査するうえでの大きなポイントでもありました。

また、大規模災害の発生時に備え、指揮系統の中心となる災害対策本部などの防災機能を備えた庁舎や周辺敷地の一部を災害支援エリアとする一方で、日常の庁舎及び周辺敷地の利活用では、窓口での住民サービスの提供に加え、市民が憩い、集う場所として、多くの方に利用される庁舎の考え方について、全ての技術提案者から熱意あふれる提案をいただきました。

言い換えると、何十年、何百年、あるいは千年に一度発生するかしないかの「災害時」と日常の「平常時」とをどのように考え、提案内容に反映させているのかについても、審査のポイントの一つでした。

選定委員会は、6者によるプレゼンテーション及びヒアリングの実施後、全体を振り返り、協議を行ったのち、第1次審査の評価と合わせ最終的な評価を行い、各テーマに対する技術提案について、本基本計画等の内容を十分に理解し、将来を見据えた具体的かつ意欲的な提案と履行体制により確実な設計業務が期待できる技術提案者を最優秀者（受注候補者）として選定いたしました。

優秀者（次点者）を含めたその他の提案者からも、登別市らしさあふれる独創的で優れたご提案をいただきましたが、その中でも、最優秀者については、市民目線での親しみやすさや市民と職員が相集う空間形成の考え方、また、建物と周辺環境が調和した効果的で実現性の高い独創性のある計画などの提案内容が特に優れていたため、最も高く評価される結果となりました。

終わりに、本プロポーザルにご参加いただきました各技術提案者におかれましては、貴重な時間をいただきましたことに対し、心から感謝申し上げます。